

【件名】	道路構造物予備設計（畑中Ⅲ期地区）	【事務所名】	西多摩建設事務所
【施行場所】	青梅市畑中三丁目地内から同市和田町二丁目地内まで	【受託者名】	日本エンジニアリング株式会社
【工期】	令和5年10月3日から令和6年12月16日まで	【主たる技術者名】	主任技術者 湯尾 宏樹

【委託概要】

本委託は、主要地方道奥多摩青梅線（第45号）の和田畑中3期地区における高低差処理のための一般構造物予備設計、関係機関との協議資料作成、パース作成を行うものである。

【表彰理由】

①取組姿勢

擁壁の比較形式選定にあたっては、現地状況を十分に把握し、地質条件、電線共同溝計画を踏まえ、留意事項として施工計画、埋設物、擁壁基礎、アクセス機能回復計画、橋梁桁下計画の複数の確認がされるなど、責任感を持って業務に取り組む姿勢が感じられた。

また、施工計画においては、施工での課題を確認するため、自主的に施工ステップ図を作成し、擁壁施工時における交通への影響検討を行うなど、積極性が感じられた。

②成果品の品質

一般構造物予備設計（本線擁壁、階段部、橋台前部）、関係機関との協議資料作成（警視庁設計協議図、管理区分照会図など）、交通量調査、パース作成など多岐にわたる業務内容であったが、良好な成果品が取りまとめられた。

また、本庁協議の修正・追加指示に対応し、主動すべり角、円弧すべり等による既設石積等の撤去時における現道及び切り回し道路への影響確認が補足されるなど協議資料の的確な修正が行われ、新旧対照資料を作成する工夫もなされた。

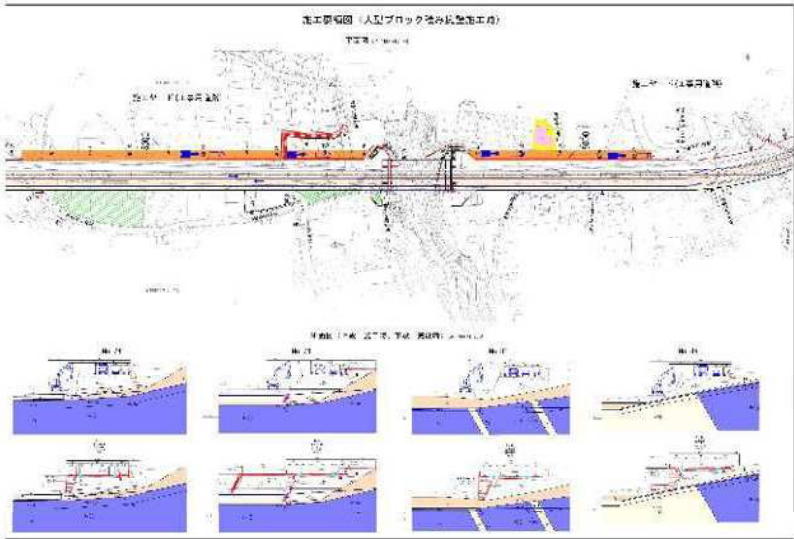
③完了検査時の対応

報告書（概要版）が分かりやすくまとめられ、説明も理解しやすく、質問に対しても明瞭な回答であった。

三次元CGパース



施工ステップ検討



現道交通への影響確認

